



第58号  
BenHouse  
編集 尾上大輔  
姫路市南条637  
TEL: 079-222-5500  
www.benhouse.co.jp  
バックNO. は上記WEBで

**「迷惑な女してませんか？ 男もいるが、大半は女が多い！」**

「いませんか？ 駅の構内で、スッチーもどきで引っぱってるやつ。少ないころはかつこよかつたが、いまじゃ〜老人車のごときだよ。」「なんでそんなに迷惑なの？」「分かんないからやつてる訳で、場所は東京駅構内、結構込んでるじゃないですか、人の流れを横切らないといけない時、いるんだなこんなのが、隙間をねらつてこんな人の後ろを横切ろうとすると、死角にあるんだな邪魔なかなばんが、何度ぶち当たりそうになつたことやらら、つまづいてこけそつです。混んでる場所なら短くして引くか、持ち上げて運ぶのがマナーですよ。」「ホンマに腹立ちまっせ。似たやつに



本屋さんの通路でリュック背負ってる人、後ろ通れませんかよ学生さん。

**「けっつ、出来たと  
思ってたのに、上には  
上がガツンとつた。」**

2月の中ごろ突然、BenHouseに異変です。写真の様な看板が？ 何々、「OZU 界」、「えっえっえっ何が起こつたの？」、「デスデス。誰が作つたの？」もちろん社長の大ちゃんですが、なにかやる時は、まず「エイヤ」と、言つて、スローガン掲げる。それから準備にかかる。立派な企業は違つたが、これがBenHouse流である。その次は社員さんの年間目標の見える化です、もちろん月報も同じく。去年までのBenHouseの月末会議、「今月は目標に届きませんでした、来月は頑張ります。」お上手な人は「来月は出来るだけ頑張ります。」とも言つて、出来るだけというの、無理しません、やりませんと同じなのです。これ

を人よ、嘘つき、大会吹っ飛ばす、ちやんへは、言つていい、（ない）と、呼ぶそうです。BenHouseも、去年はこんな会議が続きました。こんな甘くては世間の荒波くぐつていけない、RにもXにも勝つていけな、ねじを巻かなければと、思つていたのである、偶然2月に思いついたわけではないのです。3月に入つて西村屋さんの予約社員には「かに食べさしちやるから、31日はあけとつてな。」え、何するのかな？ 実は実は密かに水面下では経営発表会なるものが計画されていたのである。でも、ようせんかつたらただのお食事にすればいいと気軽に考えていたのである。図太い大ちゃんもさすがに、経営発表会やるぞ〜とは言えなかつた。実は大ちゃん、やつた事も見た事もない、どんな事やるのか想像の世界である。うーん、思つてた時に、ノアののさんから声がかかりました。「尾上さん、経営発表会やるから出席してもらえませんか？」へっ世の中同じ様なことやつてる人もおらんや。「ラッキーちゃん、見本を見せてもらおうと。」い



くいくいつですか？ 4月2日、えつうつとこより後やん、ということは見本にならん・・・31日やるから来てくださいね。」「実は、発表会は社外の人を呼ばないとピリツとしないのです。社外取締役のようなものです。他人に見られてやつと一人前に出来ませぬ。あと、長い時間一人で出来ないの、助っ人としてコンサルタントのAさんに営業のセミナーをしていただくことに。予定は着々、準備も万端さて、あとは大ちゃんのお話さだい、そんなときBenHouse 08年度事業発展計画書（社外秘）が完成したのである。こりやいけるかも、なんていうまに当日、BenHouseは3時に強制閉店、いざ西村屋！ お客さんは5名様来場。最初にあいさつを述べ、Aさんにバトインタツチ。司会者なら楽勝楽勝Aさん、やつぱりプロフェッショナル、お上手お上手。さて、Aさんが終わつて、次は経営発表会本番です。が、5時から発表会には出席するはずの女性社員たち5分前に、まだだれも来ない。も、宴会場へ直



